



飯能ロータリークラブ会報

唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida



ロータリーのマジック

RI会長 ステファニー A. アーチック

第2570地区ガバナー 五十幡和彦
第3グループガバナー補佐 倉片順司

入って良かったロータリー

第3158例会 2025. 2. 19

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 61-35)

会長 森 健二 幹事 大崎光二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 福地君、井上君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 森会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 小谷野大典会員



【会長報告】

2月8日・9日と「飯能ロータリークラブカップ第35回せせらぎ杯中学生卓球大会」に川口委員長はじめ6名で参加。記念大会ということもあり、遠くは新潟、長野からもたくさん来られる予定だったのですが、大雪で新潟の4チームは学校に集まってバスで来ることができず、棄権となっていました。

子ども達の競技レベルは高く、全日本に出るような選手も結構居るとのこと、素人でも観ていて「すごいな」と思いました。ロータリーカップを優勝チームに渡してきましたので飯能RCの存在感を示すことができているのかなと思いました。

昨日はインターミーティング(IM)に大勢参加して頂き有難うございました。22名というのは、主催の所沢を除いて第3グループ最大の参加数だったのかなと思いました。会場は「所沢ミュージアム」。講演会の講師はお二人で、一人はパリパラリンピック・車いすテニス女子ダブルスの金メダリスト・田中愛美

(まなみ)さん、もう一人は2840地区パストガバナー・田中久夫さん。

田中愛美さんは中学の時、事故で脊髄を損傷して足が全く動かなくなりました。それまではテニス部のエースでした。高校の時に先生に「(テニス部の)マネージャーになります」と言ったところ、「車いすテニスというのがあるから選手として戻ってこい。環境は全部オレが整えるから」と言われ、今の道が開けたということでした。困っている方に一つ手を差し伸べることによって、その方の未来が大きく変わる。それがなかったら普通の障害者でテニスも諦めていたと思うのですが、ゴールドメダリストとして後輩の面倒を見て、車いすテニスがさらに発展するよう尽力したいとおっしゃっていました。

田中PGは本も出されている有名な方で、高崎RCで会員を50名増やしたという話をされていました。「増強委員長」には友達の多い若い人を起用すること。明るい人を入れること。悲観的な人は入れない方がいいとのこと。うちには楽観的な若い増強委員長がいらっしゃいますから、そのお蔭で飯能RCの未来は万全たるものと思っております。

【幹事報告】

前回理事会議事録、3月のプログラム配付。『ロータリー手帳』の申込みは3/5(水)までに事務局まで(厳守)。3/5に入会式を行う予定の新会員について万一ご異議のある方は2/25までに書面をご提出下さい。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・3/18(火) 定款の規定により休会
- ・3/25(火) 移動例会「花見例会」
- ・4/15(火) 振替「親睦旅行」13・14日
- ・4/29(火) 定款の規定により取止め(法定休日)
- ・5/6(火) 定款の規定により取止め(法定休日)
- ・5/20(火) 移動夜間例会
- ・6/3(火) 移動夜間例会
- ・6/17(火) 最終夜間例会
- ・6/24(火) 定款の規定により取止め

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 小谷野君

4/16(水)夜間例会 18時点鐘「ヘリテージ飯能」会費1万円。4/18(金)飯能日高合同親睦ゴルフコンペ開会式8:20「飯能グリーンカントリークラブ」参加費3千円。表彰式後、懇親会は「旬彩香」に移動。申込み締切3/26(水)。できれば早めにお問い合わせ致します。

【出席報告】無届欠席3 鈴木(勝)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
67名	4名	51名	76.12%

【M U】

2/18 (東京板橋) 半田君

【ロータリーの友】 大野(康)雑誌委員

「2月号」宝物になるような永久保存版です。2月は「平和構築と紛争予防月間」ですが世界の現状はきな臭く、大変な状況になっています。横組P4、イスタンブールに新たな「ロータリー平和センター」が開設されました。P7『スタートレック』は子どもの頃観ていました。ヒカル・スルー(日本語版ではミスター・カトー)役の日系の俳優、ジョージ・武井さんは戦争中、収容所に送られたり等大変だったことが語られています。P18、今年度の国際大会はカルガリー(カナダ)です。皆さんご参加の方は如何でしょうか。P31、東松山のスリーデーマーチで五十幡ガバナーおよびRCメンバーがポリオ根絶を目的として歩いたことが紹介されています。P35に

も五十幡Gの記事。縦組P4「言葉を守る」昨年暮れまでNHKに勤めておられた方の、考えさせられる内容のお話です。P22「俳句・川柳・短歌を詠んでみませんか」。日高に続こうと、自分でひねって一句ここでご披露しようと思ったのですが、ひねり切れませんでした(笑)。最後に、「2月23日」は「富士山の日」でもあるのですが「RCの創立記念日」だということです。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・小谷野委員長、本日卓話有難うございます。新井君、鎌田君、岩泉君、鈴木(勝)君 天ヶ瀬君、鳥居君、山口君
 - ・妻の誕生日記念有難うございます。福島君 本日計10,000円、累計額956,018円。
- ◎5日例会当番は小崎、平沼会員です。

【卓話】

講師紹介 鈴木(康)プログラム委員長

会員旅行PR

飯能RC 親睦活動委員長 小谷野大典会員



本年度親睦活動委員長を務めさせて頂いている小谷野でございます。貴重な卓話の時間を親睦旅行のPRに使わせて頂き誠に有難うございます。

九州・長崎の魅力を少しでもお伝えできればと思いますのでよろしくお願い致します。配付資料と写真スライドでご説明致します。森会長より年度初めに「親睦家族旅行は九州・長崎が良いのでは」とのご指示を頂きまして、私の方で案を作ったり現地に赴いたりしてプランを考えました。長崎は縦に長い県で、長崎空港は真ん中より若干下の方に位置しています。「ハウステンボス」が有名ですが、1泊2日ですと、そこと、例えば「長崎市内」となると時間的に難しく、どちらかに絞るしかないかなというところで、今回は「長崎市内」を採らせて頂きました。

《1日目》朝、飯能を出発。羽田空港から大村湾にある長崎空港に到着。昼食になりますが、長崎と言えば貿易が盛んで、中華街がご

ざいまして、そこの中国料理店にてコース料理を食べて頂きます。海外との交流が限られていた江戸時代中期、唯一、長崎・出島では盛んに貿易が行われていました。調べたところ、出島はオランダ人が多く住んでいる町でしたが、貿易はオランダばかりでなく、中国とも盛んに行われていたそうです。当時、長崎の人口は6万人。うち1万人が中国人でした。オランダ人には出島、中国人には居留地が設けられ、「唐人屋敷」と呼ばれていたそうです（今で言う「新地」）。そこが中華街に当たる所で、1927(昭和2)年、その地にお店を開いた「長崎中国料理館 会楽園」で昼食を頂きます。長崎ちゃんぽん、皿うどんが有名ですから食べたいと思うところで、コース料理の一つとして選べるように交渉してあります。また、店の人気メニューに東坡肉(トンポーロ)があります。パンに挟んで食べるのですが美味しかったです。これもコースに含まれています。5階建ての上階、宴会場に皆さん揃ってお食事ができます。

昼食後は長崎市内観光を予定しています。まず「平和公園」。ここには平和記念像だけでなく、世界各国から鎮魂や平和を祈って、ほかに16基のモニュメントが置かれています。それらを見ながら散策したいと思います。「平和公園」の近くに「長崎原爆資料館」がありますので、そちらにも参ります。1996(H8)年、被爆50周年記念事業で、それまで被爆資料を展示していた「長崎国際文化会館」の建替えを行い、名称も「長崎原爆資料館」として開館したということです。私も行ってきましたが、被爆の惨状を示す写真や原爆投下に至った経緯、核兵器の歴史、平和への希求等、ストーリー性のある展示で、見応えがありました。世界観が少し変わるかと思えます。

その後、「眼鏡橋」という石橋を見学。これは「日本三名橋」の一つになります(東京「日本橋」、山口「錦帯橋」)。この橋の近く、1km程のうちに石橋が全部で13あります。調べましたら、それぞれ別のお寺の参道になっているとのこと。お寺に向かって参道を行くと、長崎最古の商店街があり、見応えがありました。明治・大正期から続くお店もあって、1時間では見られないかもしれませんが、時間を取りたいと思っています。

次に「出島」。眼鏡橋からは車で10分弱程ですが、歩くには遠いのでバス移動となり

ます。江戸時代にはぼつんと海に出っ張った形状でしたが、今は埋め立てが進んで、当時の建物が復元され、それがまちなかに突然現れたような、テーマパークみたいなところがございます。当時の服装をした方が案内してくれます。出島内は倉庫や品物を置いておく所、鑑定する所が多かったですね。江戸時代初期には生糸を輸入して銀を輸出。中期以降はガラス製品や砂糖、こしょう等を輸入して銅を輸出。そんな展示がされておりました。日本各地の銅山から銅が集まってきて、ここで成形し直して棒状にして輸出していたようです。クリスマスの風景を再現した鮮やかなお部屋もありました。

1日目の観光は以上で、「稲佐山観光ホテル」に向かいます。「世界新三大夜景」はモナコ、上海、長崎ということで、頂上に展望台のある稲佐山の、中腹にあるホテルです。部屋から夜景が一望でき、宴会場や大浴場からも夜景を眺めることができます。美しい夜景を見ながら皆さんとお酒が飲めたら楽しいだろうなと思っております。長崎は和牛が結構美味しいのです。品評会で日本一を取っている和牛でして、それを使ったすき焼き等をオーダーしています。山の上のため、二次会の場所は設定しにくいです。タクシーで10~15分下るようなので、ホテル内のラウンジに設定しようかなと思っております。

《2日目》「軍艦島」へ2時間半位のコースの後、昼食は長崎の郷土料理「卓袱(しっぽく)」を食べて、お土産を買いながら帰って来ようかなと思っております。

「軍艦島」は通称で、正式名称は「端島(はしま)」です。長崎港から南西に18km、長崎半島から西に4.5kmに位置する、海底鉦山を掘った島です。それ程大きくなく、南北に480m、東西に160m、周囲1200mしかありません。面積は6万5000㎡(サッカーコート9面分)。波から守るために島の周りには高い岸壁が鉄筋コンクリートないし岩等で設けられ、さらに、炭鉱労働者やその家族が暮らす高層の鉄筋コンクリートのアパートが建てられており、外観が「戦艦土佐」に似ていることから「軍艦島」と呼ばれるようになったそうです。ここに上陸して島内を周遊するクルージングを体験します。出港してから40~45分程の船旅。240~250人乗れる船で行きます。島に着いてから、散策と船で周囲を回ったりするのが1時間位。帰りも

40～45分で、計2時間半になります。島内は歩ける所が限られていて、主に東側しか行けません。西側は西風が強く、波が大きく立つので鉄筋コンクリートの壁の風化が激しいのです。当時、西側に壁になるようなアパートを建てて、地上での作業は東側でやっていたみたいなのです。日本で最も古い、高層の鉄筋コンクリートのアパートの姿です。崩れそうで、見ることができる時間ももうあまりない、ラストチャンスかと思い、皆で見たいなと思っております。水道屋なので職業柄「水はどうしているのかな」と上陸してすぐに思いました。ガイドに聞いたところ、水は1日1回船で運んでいたそうです。最盛期には5300人が暮らしていた島ですから相当な水を使うと思います。最初のうちは船で運んでいたわけですが、天候の悪い日もございます。そうすると船が来ない。断水になってしまう。それを解消するため、4.5 km離れた長崎半島から海底に水道管（5 km位）を通したのだそうです。昭和初期の時代にすごい工事をやったんだなと思いました。東側を歩いて散策した後、帰りの船に乗るのですが、帰り際ぐるっとゆっくり一周西側も見て回るわけでございます。

2日目の昼食は長崎の郷土料理「卓袱料理」です。「日本三大遊郭」の一つ、丸山遊郭のあった場所にある「史跡料亭 花月」で頂きたいと思っております。卓袱料理を私は食べたことがございませんでした。

下見に行った時もかなり格式の高い料亭で、予約しないと入れなかったため、まだ食べていません。ただ、調べたところ、当時、中国人の方がお客をもてなすために作った料理が卓袱料理のはじめだと言われています。資料館や歴史を知れる所のある建物で、入った感じはとても良い雰囲気料亭だなと思えました。お庭もすごく綺麗で、そのお庭を見ながら昼食を皆さんで食べようと思っています。是非見て欲しいのは床柱の傷です。坂本龍馬が酔って付けた刀傷だそうで、私も見ましたが、言われなければ見逃してしまいそうな感じでした。運良くこの大広間「竜の間」が取れましたので、こちらで昼食を食べて帰って来ることになります。

5月10・11日、土日の旅行になります。親睦活動委員会のメンバーと皆さんと、貴重な経験を味わいながら楽しんで来たいと思っておりますので、是非とも大勢のご参加をお待ちしております。理事会上程は来月ですが、ほぼプランはこれで決まっています。理事会を通りましたら3/12の例会でポストインさせて頂きたいと思っております。



**2024-2025年度 国際ロータリー 第2570地区
第3グループ 都市連合会 (IM)**

2月18日(火) 所沢市民文化センター ミューズ